

公表

事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名		発達支援室クオール伊勢				公表日	2026年 2月 12日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0	法令に基づいたスペースを確保しています。	今後も密にならない空間、活動しやすい配置を考えて行きます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	0	クラスごとに3人の常勤がいます。	現状を維持していきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	0	三重県の設置基準に適合しています。	現状で不自由を感じる所は改善します。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0	子どもたちが活動しやすいように環境を整えています。	さらに安全に過ごせるように工夫していきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0	静養が必要な時や個別対応が必要なときには個別の部屋で過ごしてもらっています。	今後も、子どもの様子により部屋を使用していきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	0	固定の考えにとらわれず、臨機応変に必要なことを話し合い、変えています。	新職員も、アイデアを出しやすい環境を作ります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	アンケートにご協力いただき、結果を真摯に受け止め、業務改善に努めていきます。	保護者の意見に耳を傾け、よりよい支援を目指します。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	毎月一度、全職員ミーティングを実施しており、その時に意見等あれば検討しています。	どの職員も意見が言い出しやすい職場の雰囲気作りを目指します。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	2	現在は外部評価は行っていません。	今後については、必要性を重要視し検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	月に一度、研修及びスタッフミーティングを行っています。	今後も、保護者様のご要望にお応えできるように、職員の資質向上に努めます。	

公表

事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名	発達支援室クオール伊勢		公表日		2026年 2月 12日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0	プログラムについては、都度検討し、ホームページで公表しています。	子どもたちの変化により適応しているプログラムになるように努めます。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	0	半年に1度を基本に、成長・発達に応じてアセスメント及び計画を作成するようにしています。	保護者様と共有できる計画を作成していきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	毎月、カンファレンスを持ち、児童発達管理責任者を中心に話し合い共通理解を図っています。	普段から小さな事柄でも、職員同士が報告し合える関係性を大切にしていきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0	毎日のミーティングで、職員が共通して子どもについて認識できるようにしています。	一人ひとりの子どもの課題や成長を丁寧にしながら関わっていけるように努めていきます。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0	事業所独自の物を使用しています。	お子さんの環境や状況が把握できるように内容を見直していきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0	個別支援計画には、子どもの支援に必要なことや、加算に関することを設定しています。	子どもの支援に必要なことや、ご要望をしっかりと受け止められるように計画を作成していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	支援にあたるスタッフで意見を出し合い、より適切なプログラムになるように工夫しています。	今後も、保護者様のご要望にお応えできるように、お子さんの常態に合わせた内容の支援を考えています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	お子さんの様子に合わせて、様々な活動を行っています。	現状を維持しながら、さらに工夫を重ねていきます。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	0	お子さんの状況に合わせて、活動のバランスを考えています。	より分かりやすい計画を作成していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	その日の利用児童の活動内容を確認し、共有しています。	スタッフ間でスムーズに活動支援が行えるように努めます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	0	活動状況、一日の流れを振り返り、次回に繋げています。	活動の良かったところは勿論、危険なことや工夫するべき点を振り返り、次回に繋げていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	日々、記録を取り、次に支援するべき点について検証しています。	情報管理を徹底していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0	半年に一度を基本に成長・発達に応じてモニタリング及び計画を作成するようにしています。	適宜、放課後等デイサービス計画の見直しをしていきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	10	0	お子さんに様子に合わせて、様々な活動を行っています。	個々のお子さんの状況に応じた支援ができるように工夫していきます。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	0	どんな活動においても、自分の意見を相手に伝える活動を大切にしています。	相手にわかりやすい伝え方や気持ちの表しかたについて工夫していきます。

公表

事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名	発達支援室クオール伊勢		公表日		2026年 2月 12日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0	主に児童発達支援管理責任者が出席しています。	今後も担当者会議での必要な事柄についてスタッフ間で共有していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0	必要に応じて各機関との連携を図っています。	今後も必要な場合やご要望があるときには連携を大切にしています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10	0	主に学校との情報交換はご家族を通して行っています。ご希望があれば面談させていただいています。	学校との情報共有や連絡調整に努めています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10	0	継続支援に努めています。	各機関との必要な情報共有に努めます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	1	事前に見学に来ていただいたりして、共有しています。	障がい福祉サービスへ移行されてから、困りごと等ができるだけ少なくなるようにしていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10	0	研修に参加しています。	今後も連携に努め、助言や研修を受けていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	7	戸外での活動時には、地域の子どもたちと自然な形で交流しています。	今後も地域のお子さんたちとの交流の機会を考えていきますが、交流をご希望されない保護者も多いので検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9	1	他機関の方との連携を大切にしています。	他の障がい福祉サービス事業者の方と地域のことについて考えて行きます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	利用日・送迎時に直接お話をしています。	保護者の皆様と共有理解ができるように努めます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	2	お子さんの様子に合わせて個別に相談支援をしています。	今後も、お子さんに合わせて行動チャートなど対応をご提案していきます。

公表

事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名	発達支援室クオール伊勢		公表日		2026年 2月 12日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0	規定を明確にし、紙面にて説明しています。	現状を維持していきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0	6か月に一度、個別支援計画を見直しその際にお子さんや保護者の方のご意見・ご要望をお聞きしています。	お子さんや保護者の方のご要望が確実に反映できるように、今後も努力していきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10	0	個別支援計画作成後、保護者の方に同意を頂いてサインをしてもらっています。	現状を維持します。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	ご操舵mmにはその都度、応じていますが、必要に応じて時間を取り、助言と支援を行っています。	子育てにおける不安や悩みを共有し、解決に導いていけるように支援します。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	10	0	R8、2月に保護者交流会を催します。	ご希望やご要望に応じ、今後も機会を設けます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	苦情に関しては相談窓口を設け、速やかに対応しています。	主訴やご意見をしっかりと聞き取り、改善策についてご説明させていただきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10	0	お便りを月に一度、発行しています。	保護者の方に読んでいただきやすい内容を心がけていきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	個人情報について、職員一同十分に気を付けるように徹底しています。	現状を維持すると共に、扱いについて不十分などところがないか、考えて行きます。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	ご本人の特性に合わせて、文字やイラストで表示するなど対応しています。	より分かりやすくお伝えできるように努めていきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	5	イベントや壁面飾りなどで、来ていただくことがあります。	地域の方々との関係づくりも大切にしています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0	マニュアルを作成しています。	事業所の環境整備を進めると共に、災害に対する意識を高めます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0	毎月、様々な災害を設定し避難訓練をしています。	年に一度、消防署と連携した消防訓練を実施しています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10	0	お子さんの様子については、事前に保護者の方とお話して聞き取りをさせてもらっています。	気をつけること等を確実にじっごうできるように努力していきます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0	保護者の方の申し出に応じています。	アレルギーに対する知識について研修していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0	子どもの安全・あmm真マニュアルを作成し、研修会及び訓練を実施しています。	保護者の方にもお知らせを配布し、いつでも閲覧してもらえるようにしていきます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0	お知らせで案内しています。	引き渡し訓練等を実施しており今後も、ご協力をお願いします。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	事故報告書、インシデント報告書を使用しています。	危険に対する意識を共有し、事故に繋がらないように環境も整備していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	虐待防止委員会を設置しています。	毎年、研修を行うことを維持して、虐待防止の意識向上に努めます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	0	医師の指示のもと、やむを得ず必要な場合は同意書及び計画に記載しています。	現状を維持します。	